

平成 29 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市長森コミュニティセンター	所管課	男女共生・生きがい推進課
所在地	岐阜市前一色一丁目2番1号		
指定管理者名	岐阜市長森コミュニティセンター運営委員会		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	19,611,000円(平成29年度)		
施設の設置目的	地域住民の連帯意識を高め、快適で住みよい地域社会の形成に寄与すること		
施設概要	・建築年月 平成3年6月29日 ・敷地面積 4,087㎡ ・延床面積 2,728.74㎡ ・防災会議室、多目的室、音楽室、スポーツ室、料理教室、サークル室、集会室、教養娯楽室、大集会室、チビッ子コーナー、駐車場 ・岐阜市東青少年会館(併設施設)、岐阜市長森図書室(併設施設)、岐阜市長森ふれあい保健センター(併設施設)		

●利用状況

		H29 上半期	H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期	H27 上半期
利用者数(単位:人)		36,383	40,936	37,471	42,454	37,809
各室稼働 状況 (%)	防災会議室	66.5	70.6	71.1	70.0	74.1
	多目的室	20.2	20.3	22.5	26.7	24.6
	音楽室	50.5	51.2	49.3	49.2	49.9
	スポーツ室	88.3	86.5	80.9	78.4	82.8
	料理教室	18.1	23.6	22.9	23.6	19.7
	サークル室	16.8	24.9	18.9	25.4	21.0
	集会室	44.2	44.8	45.0	45.3	44.6
	教養娯楽室	19.3	18.5	15.1	18.8	18.0
	大集会室	37.4	47.7	42.5	46.8	42.7

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者 サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用を行なっている。 ②適切な運用を行なっている。 ③コミセンだよりを年2回発行し、構成区域の地域住民を対象にセンターの活動状況などを紹介している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聞いて、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・ 提案事業	下記自主事業の実施(上半期) ①防災訓練(6月、1月) ②生涯学習フェスティバル(11月) ③コミセン講座(3回)(7月、9月、12月) ④定期サークル代表者会(6月、2月) ⑤コミセンだより発行(8月、3月)	①6/14に実施、20名参加。 ②11/19に予定 ③7/11に実施(シニアの男性料理教室)、17名参加。 9/13に実施(救命講習)、34名参加。 ④6/4に実施、49サークル参加。 ⑤8/1に1,600部発行 構成地域の自治会各班にて回覧。
施設管理	日常点検 ①消防設備点検(自主点検) ②不審者、危険物(自主点検) 法定点検 ①昇降機保守点検(年1回) 定期点検 ①昇降機保守点検(年12回)	日常点検 ①特記事項なし ②特記事項なし 法定検査 ①6/6に実施 定期点検 ①4/19、5/23、6/6、7/12、8/16、9/13に実施。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施	日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。
危機管理・ 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市コミュニティセンター条例第7条の規定に基づき実施している。 ②マニュアルを整備するとともに、年2回避難訓練を実施している。 ③関係法令を遵守し、運営をしている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成29年8月1日～8月31日に実施 (64件)
利用者アンケートの実施結果	◎ 性別・年代 男性 32.8% 女性 67.2% 10歳未満 3.1% 10代 0% 20代 0% 30代 3.1% 40代 10.9% 50代 17.2% 60代 26.6% 70代 34.4% 80歳以上 4.7% ◎ 利用した部屋は 防災会議室 14.06% 多目的室 7.81% 音楽室 43.75% スポーツ室 7.81% 料理教室 4.69% サークル室 1.56% 集会室 9.38% 教養娯楽室 0% 大集会室 10.94% 長森図書室 0% ふれあい保健センター 0% 東青少年会館 0% その他 0% ◎ スタッフの対応(態度や接客など)について 満足 81.25% やや満足 17.19% ふつう 1.56% やや不満 0% 不満 0% ◎ 設備や備品の管理状況(整理整頓、壊れた箇所の有無など)について 満足 62.50% やや満足 28.13% ふつう 7.81% やや不満 1.56% 不満 0% ◎ 全体的な満足度について 満足 67.19% やや満足 18.75% ふつう 14.06% やや不満 0% 不満 0%
利用者からの要望・苦情と対応・改善	使用後の部屋の清掃をお願いしたい。 → 利用者の方にも使用後には次に利用する方のため、後片付けと清掃をお願いしております。 エアコンの時期をもっと早くして欲しい。 → 5月の連休明け頃に切り替えております。 スポーツ室の音響設備のデッキが音飛びする 新しくして欲しい。 → メーカーに依頼して点検、修繕をしました。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	岐阜市長森コミュニティセンターの運営上の基本方針、平等利用を確保するための体制	・利用要領に従い、平等な施設利用の承認を行っているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌やチラシで広報されているか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	地域の生涯学習及びコミュニティ活動の推進を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進に資する業務を行っているか	A	A	A
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・地域の生涯学習、コミュニティ活動の場として提供されているか	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・運営委員会事業の内容を常に見直しを行っているか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備等の整備など）	・接遇等の職員研修が実施されているか ・定期的に備品の点検を行い、必要に応じて改善されているか	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理に関する経費の設定額の妥当性と経費縮減の方策	・収支予算と実績とは大きくかい離していないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	A	A	A
		効率的な運営を図るための組織の構造、スタッフの配置	・職員の配置を工夫し、開館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	必要人材の配置と職能及び人材育成の方針	・業務に必要な研修を実施し資質の向上に努めているか	A	A	A
		リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令遵守は適切に行われているか	A	A	A
		施設管理を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	A	A	A
		区分評価				A

貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進のため、ニーズを把握し、地域と一体となって、地域を巻き込んだイベント、社会活動の開催など	・地域の自治会連合会等の各種団体の代表者で構成する運営組織であり、地域に密着した運営が行われているか	S	A	A
		地元の住民の雇用及び貢献に関すること	・地域に密着した運営ができるよう、地元在住者を職員として採用しているか ・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか	S	A	A
	区分評価					A

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組みに対する評価	・「長森コミセンだより」1回目を発行し、平成29年度の運営委員の紹介、定期サークルや併設施設の活動状況等を掲載して地域全戸に回覧、また来館者には自由にお持ち帰りできるように窓口に置き広報周知に努めました。 ・スポーツ室照明器具の一部LED化、玄関タイルの一部修繕、スポーツ室の音響設備の修繕等を行い施設環境の改善を図りました。
前回までの意見の取組み状況	・男性向きの第1回コミセン講座で「シニアの男性料理教室（第1回目）」を開催し、その様子が地方紙に載りました。また、平成30年1月にも「シニアの男性料理教室（第2回目）」を企画しております。
今後の取組み	・経年劣化により施設の修繕箇所や設備等の故障が多くなっていますので、安全性、緊急必要性を考慮して迅速に対応し、快適、安心に利用できるよう施設環境の改善に今後も努めてまいります。 ・サークルの活性化と利用者の増加を図るため、定期サークルの協力を得て「サークル体験説明会」を計画しております。

●所管課の意見

利用状況は、前年同期に比べ、利用回数・利用人数ともに減少している。その中で、スポーツ室は、80%以上と高い稼働率である。 指定管理者の事業については、コミセン講座において「シニア男性料理教室」を開催し、男性の地域活動のきっかけづくりをし、大変好評であった。また、「救命講習」は、緊急時の応急処置等の対応について学ぶことができ、評価できる。 8月に実施したアンケートの結果、スタッフの対応についての満足度や全体的な満足度は高く、日ごろから身近で親しめる施設を目指している結果であると評価できる。施設については、スポーツ室等をLED化する等、利用者からの要望や施設の不具合について、可能な限り迅速に対応しており、適正な運営がなされている。 運営組織は、地域の自治会連合会をはじめ、各種団体の代表者により構成されており、利用者が利用しやすい運営方法の改善や施設の維持管理に努めるなど、適正な施設運営が行われていると評価できる。
--

●指定管理者評価委員会の意見

・施設の安全に留意した管理がしっかりとされている。 ・アンケートの実施について、情報の収集・発信という面で、インターネットでも対応できるようにするなど工夫する余地がある。 ・災害時において、各コミュニティセンターは避難所として位置付けられており、各施設の防災研修等を通して指定管理者や地域住民が日ごろから防災意識を持つことは大切である。 ・古い施設では、老朽化への対応で苦勞している面があると思うが、引き続き利用者の意見を聞きながら努力していただきたい。
--